



# 五月(大) 皐月 婁宿

(五月五日立夏の節より  
月命辛巳五黄土星の月  
暗剣殺なし)

旧 四月大  
閏四月小

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出	月出	満潮	干潮
1日	金	きのえ たつ	八白	八十八夜、○上弦五時三十分、メーデー、高岡御車山祭 旧四月大	九	赤口	たつ	鬼	大みぎ	4.49	18.28	11.16	0.54
2日	土	きのと	九紫	奈良東大寺聖武祭、飛騨水無神社例祭、下関海峡祭(4日迄)	十	先勝	のぞく	柳	神よし	4.48	18.29	12.23	1.37
3日	日	ひのえ うま	一白	○憲法記念日、京都伏見稲荷遷幸祭、熱海身代り不動尊五臓病封、博多どんたく(4日迄)、三隣亡	十一	友引	みつ	星	神よし	4.47	18.29	13.33	2.08
4日	月	ひのと	二黒	■みどりの日、豊川稲荷春大祭、七尾青柏祭、不成就日	十二	先負	たいら	張	神よし	4.46	18.30	14.43	2.46
5日	火	つちのえさる	三碧	□こどもの日、立夏九時五十分、児童福祉週間、端午、府中くらやみ祭、神奈川国府祭	十三	佛滅	たいら	翼	ちいみ	4.45	18.31	15.55	3.26
6日	水	つちのと	四緑	振替休日	十四	大安	さだん	軫	十し	4.44	18.32	17.07	4.00
7日	木	かのえ いぬ	五黄	○望一九時四五分	十五	赤口	とる	角	亘事よし	4.43	18.33	18.20	4.36
8日	金	かのと	六白	世界赤十字デー、東京下谷神社祭、三隣亡	十六	先勝	やぶる	亢	大みぎ	4.42	18.34	19.33	5.15
9日	土	みづのえ	七赤	大垣祭、八せん始め	十七	友引	あやぶ	氏	天おん	4.41	18.34	20.43	5.58
10日	日	みづのと	八白	母の日、愛鳥週間、笠間稲荷御田植祭	十八	先負	なる	房	天おん	4.40	18.35	21.49	6.47
11日	月	きのえ とら	九紫	長良川鵜飼開き	十九	佛滅	おさん	心	母倉	4.39	18.36	22.48	7.40
12日	火	きのと	一白	看護の日、一粒万倍日、不成就日	廿	大安	ひらく	尾	神よし	4.38	18.37	23.39	8.38
13日	水	ひのえ たつ	二黒	一粒万倍日	廿一	赤口	とる	箕	大みぎ	4.38	18.38	—	9.39
14日	木	ひのと	三碧	○下弦二三時〇三分、出雲大社例祭、奈良当麻寺練供養	廿二	先勝	たつ	斗	●	4.37	18.38	0.22	10.39

五月は「皐月」さつき、つしが練乱の季節である。新緑の季節とも薫風の季節ともいい、快適な月といつてよい。この月のうち、からりと晴れた日を「さつき晴れ」といい、爽快の代名詞として使われている。立春から数えて八十八日目ころは茶摘みときである。「八十八夜の別れ霜」の言葉どおり、この日から後に霜の降りることはめつたになく、霜害の心配はなくなる。珍重される新茶は、この期に霜の降りなかつた新芽茶のことである。

〔冠〕五月五日の祝日は、「こどもの日」、端午の節句である。三月三日の女子の節句に対し、この日は男子の節句といわれ、桃の節句の飾りに匹敵するものとして、屋外に鯉のぼり、室内では武者人形や兜兜(よろい)かぶと)を飾る。供える菓子には柏餅(かしわもち)やちまきで、ともに戦国時代の携帯食糧の伝統と考え

15日	金	つちのえ うま	四緑	沖繩本土復帰記念日、京都葵祭、奈良興福寺新能	廿三	友引	のぞく	牛	くま日	4.36	18.39	0.59	11.38
16日	土	つちのと	五黄	大津三井寺千団子祭、伊豆下田黒船祭(15日~17日)	廿四	先負	みつ	女	大みぎ	4.35	18.40	1.30	12.35
17日	日	かのえ さる	六白	浅草三社祭、日光東照宮春季例大祭、京都松尾大社還幸祭、庚申	廿五	佛滅	たいら	虚	大みぎ	4.35	18.40	1.30	12.35
18日	月	かのと	七赤	国際親善デー	廿六	大安	さだん	危	十し	4.34	18.42	2.26	14.26
19日	火	みづのえ いぬ	八白	奈良唐招提寺団扇まき	廿七	赤口	とる	室	ぶく日	4.33	18.42	3.18	15.21
20日	水	みづのと	九紫	小満二時四十分、酒田まつり、福井三国祭、八せん終り、三隣亡、不成就日	廿八	先勝	やぶる	壁	くま日	4.32	18.43	3.18	16.17
21日	木	きのえ ね	一白	九星置開始め、甲子、真宗本派親鸞聖人誕生会	廿九	友引	あやぶ	奎	天おん	4.32	18.44	3.46	17.14
22日	金	きのと	二黒	●朔二時三十分	卅	先負	なる	婁	天おん	4.31	18.45	4.16	18.13
23日	土	ひのえ とら	三碧	神戶湊川神社補公祭(26日迄)、一粒万倍日	朔	佛滅	おさん	胃	天おん	4.31	18.45	4.50	19.12
24日	日	ひのと	四緑	旧閏四月小	二	大安	ひらく	昴	神よし	4.30	18.46	5.29	20.12
25日	月	つちのえ たつ	五黄	東京上野五條天神祭、東京湯島天神祭、鶴岡化けもの祭、一粒万倍日	三	赤口	とる	畢	五む日	4.30	18.47	6.14	21.10
26日	火	つちのと	六白	己巳、不成就日	四	先勝	たつ	觜	●	4.29	18.48	7.06	22.04
27日	水	かのえ うま	七赤	小田原道了尊大祭、大つち	五	友引	のぞく	参	月とく	4.29	18.48	8.05	22.53
28日	木	かのと	八白	福岡宮崎宮さつき大祭、横浜善光寺身代り不動明王祭	六	先負	みつ	井	大みぎ	4.28	18.49	9.08	23.37
29日	金	みづのえ さる	九紫		七	佛滅	たいら	鬼	神よし	4.28	18.50	10.14	—
30日	土	みづのと	一白	●上弦二時三十分	八	大安	さだん	柳	十し	4.27	18.50	11.21	0.16
31日	日	きのえ いぬ	二黒	世界禁煙デー	九	赤口	とる	星	十し	4.27	18.51	12.29	0.52

〔婚〕昔は、この時期に婚礼をするのは少なかった。農家においてはなおのこと、嫁の手は計算済みで初春に婚姻し、できれば婚約者の手もあてにした、足入れ婚などの言葉が残っていたのも農繁期の人手ほしさの風習であったのだろう。

〔祭〕五月一日は労働者のお祭りである「メーデー」。国際的なもので、わが国では大正九年に第一回集会を持ち、昭和十三年に中止、昭和二十一年に復活して今日に至っている。

三日は「憲法記念日」。第二次世界大戦終了後、それまでの帝国憲法に代わって、昭和二十二年五月三日から施行された「日本国憲法」の実施記念の祝いである。

四日は「みどりの日」。平成十七年祝日法の改定により決定した。平成十九年より施行される。

五日は「こどもの日」。国民の祝日としては、児童福祉の日となっている。

第二日曜日は「母の日」で、母への感謝の気持を表わそうという日である。